

事業評価書（事前）

事務事業名		ワールドカップ関連経費		
事務事業の概要	(1)目的	日本及び韓国において開催される2002年のサッカーワールドカップは、国内外からの観戦者が多数見込まれているが、前回のワールドカップ開催地（フランス）においても、観戦者等による暴動問題が発生しており、我が国においても警察、消防等との連携のもと各開催地における救急医療体制の確保を図る。		
	(2)内容	2002年サッカーワールドカップ開催地における救急医療体制の確保・調整を支援するため、各開催地域の関係者に対し、危機管理体制としての救急医療体制の確保のための技術的助言・援助を行う。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">予算額（案）</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">3百万円</td> </tr> </table>	予算額（案）	3百万円
	予算額（案）	3百万円		
(3)達成目標	2002年サッカーワールドカップ開催地（10か所（6県4市））の関係者に対し、助言・指導を行うことにより、各地域における救急医療体制確保の促進を図る。			
評価	(1)必要性	[国民や社会のニーズに照らした妥当性、公益性、緊要性の有無] 世界規模で開催されるワールドカップにおいては、国内外から多数の観客等が移動・集合するため、万一の事故等に備えた救急医療体制の確保は必要不可欠である。 [官民の役割分担] 2002年サッカーワールドカップは、世界規模の催しであるため、政府としてのバックアップが必要である。 [国と地方の役割分担] 各開催地における救急医療体制は、開催地における地方公共団体が確保するものとし、国は、危機管理体制としての救急医療体制の確保のための技術的助言・援助を行うものとする。		
	(2)有効性	[今後見込まれる効果] 各開催地の関係者に対し、危機管理対策等の技術的助言・援助を行うことにより、各開催地の救急医療体制の確保及び危機管理意識の向上が図られ有効である。 [効果の発現が見込まれる時期] ワールドカップ開催期間及びその前後の期間に効果が見込まれる。		
	(3)効率性	[手段の適正性] 開催地における救急医療体制は、開催地における通常の救急医療体制を活用することが考えられるが、国内外の多くの人が集まること等から、国は危機管理対策等の技術的助言・援助を各開催地自治体に対して行うことにより、効果的な救急医療体制の確保を効率的に図ろうとするものである。		
	(4)その他 (公平性・優先性など)	なし		
関連事務事業		なし		

特記事項	2002年ワールドカップサッカー開催準備問題に関する関係省庁連絡会議、関係副大臣会議等を開催し、政府全体として対策に取り組んでいる。 (関係省庁：内閣、総務、法務、外務、財務、文部科学、厚生労働、農林水産、経済産業、国土交通、防衛、警察)
主管課及び関係課	(主管課)医政局指導課